

# シニア・高齢者における自動車に関する調査

運転頻度や実年齢によって、安全運転についての意識も変わる

2011年2月21日

株式会社ジー・エフ www.gf-net.co.jp  
〒112-0012 東京都文京区大塚 3-20-1  
電話:03(5978)2261 FAX:03(5978)2260

株式会社ジー・エフ（本社：東京都文京区、代表取締役社長：岡田博之）は、自社が保有するシニアデータベースを対象に、「自動車普及率及び安全運転に関する意識調査」についての調査を実施しました。調査手法はアウトバウンドIVRによる電話調査。調査期間 2011年2月16日（水）の18:00~19:00において、523世帯からの有効回答を得ることができました。

## 5割半ばが運動能力の低下や衰えを感じない

「自分で運転している時、運動能力の低下や判断の衰えを感じたことはありますか？」と質問したところ、「あまり感じない」「全く感じない」を合わせると55.8%が運動能力の低下や判断力の衰えを感じることなく運転しているということがわかりました。

## 年代別にみる安全に運転できると思う年齢、60代は9割近くが「70代まで」

年代別に安全に運転できると思う年齢をみると、60代以下は全体の9割近くが「70代まで」と回答しています。一方70代では7割半ば、80代では6割半ばでした。これにより、70代、80代は、安全に運転できると思う年齢が他の年代と比べ低く感じている割合が高いことがわかりました。

また、80代の方は、「安全運転をしていれば何歳でも問題ない」と回答している割合が2割半ばあり、他の年代と比べ高い数値を示していました。

## 年代別にみる購入の際の値段の目安は、60代の75.8%が200万円未満

「家庭で車を購入するとしたら値段の目安はいくらですか？」と質問したところ、40代以下は「200万円未満」が57.5%、「200万～300万円未満」が34.0%と高額な値段を目安としているのに対し、60代は「200万円未満」が75.8%、「200万～300万円未満」が15.7%と、ほかの年代と比べ低い金額を目安としていることがわかりました。

## 年代別に見るハイブリッドカーを購入意向は40代以下が31.7%で最も高い

年代別にハイブリッドカーの購入意向をみると、40代以下は「是非購入したい」が31.7%、「やや購入したい」が56.1%と、ほかの年代と比べて購入意向が高いことがわかりました。

また、60代は「是非購入したい」は19.0%、「やや購入したい」は48.4%と、40代以下の次に購入意向が高いことがわかりました。

本レポートについて、当社の許可なく無断転載・複写を禁じます。本レポートの転載、および一部引用が必要な場合には、弊社までご連絡ください。  
株式会社ジー・エフ シニアリサーチ担当

## 調査概要

調査対象	：全国に在住する GF シニアデータベース	
有効回答件数	：523 件	
標本抽出法	：GF・RTD（ランダム・テレフォンナンバー・ダイアリング）方式	
調査方法	：アウトバウンド IVR による電話調査	
調査時期	：平成 23 年 2 月 16 日（水）18：00～19：00	
調査主体	：株式会社ジー・エフ	
質問項目	1. 運転免許の保有率	--- p.3
	2. 運転頻度	--- p.5
	3. 運動能力や判断力の衰え	--- p.7
	4. 安全に運転できると思う年齢	--- p.10
	5. 車の所有台数	--- p.12
	6. 購入したい最適な車のサイズ	--- p.15
	7. 購入する際の値段の目安	--- p.17
	8. ハイブリッドカーの所有率	--- p.19
	9. ハイブリッドカー購入意向	--- p.21

## 調査結果

表 1 性別

	件数	構成比
男性	228	43.6%
女性	295	56.4%
合計	523	100.0%

表 2 年代

	件数	構成比
40 代以下	47	9.0%
50 代	104	19.9%
60 代	198	37.9%
70 代	143	27.3%
80 代以上	31	5.9%
合計	523	100.0%

表 3 世帯人数

	件数	構成比
1 人	52	9.9%
2 人	199	38.0%
3 人	125	23.9%
4 人	75	14.3%
5 人以上	72	13.8%
合計	523	100.0%

## 1.1 運転免許の保有率 運転免許保有率は 78.0%

「あなた様は、運転免許をお持ちですか？」と質問したところ、「持っている」(78.0%)が8割近くとなり、「持っていない」(22.0%)が2割を超える結果となりました。

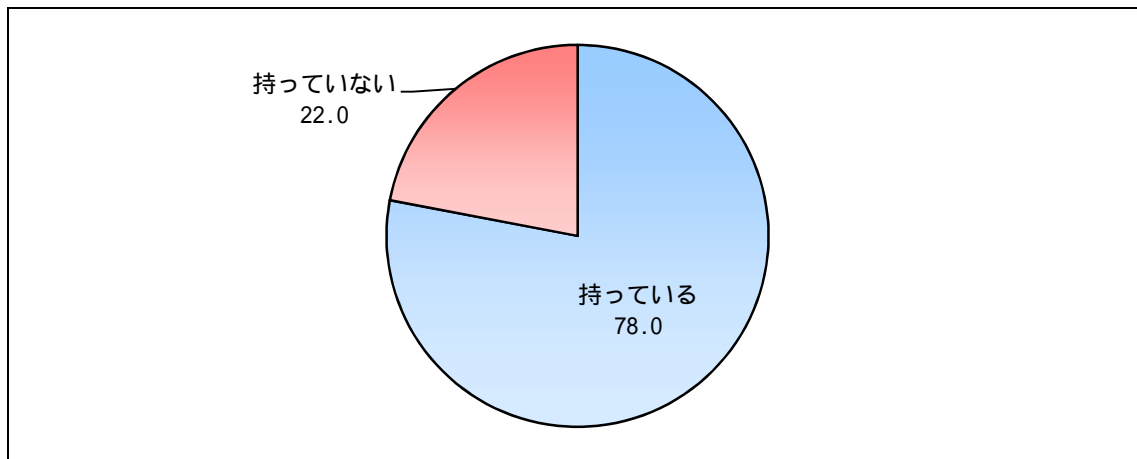


図 1-1 運転免許の保有率 ( n=523 )

## 1.2 男女別にみる運転免許の保有率 男性は女性より運転免許の保有率が高い

男女別に運転免許の保有率をみると、女性(70.5%)に比べ、男性(87.7%)が17.2ポイント高いことがわかります。

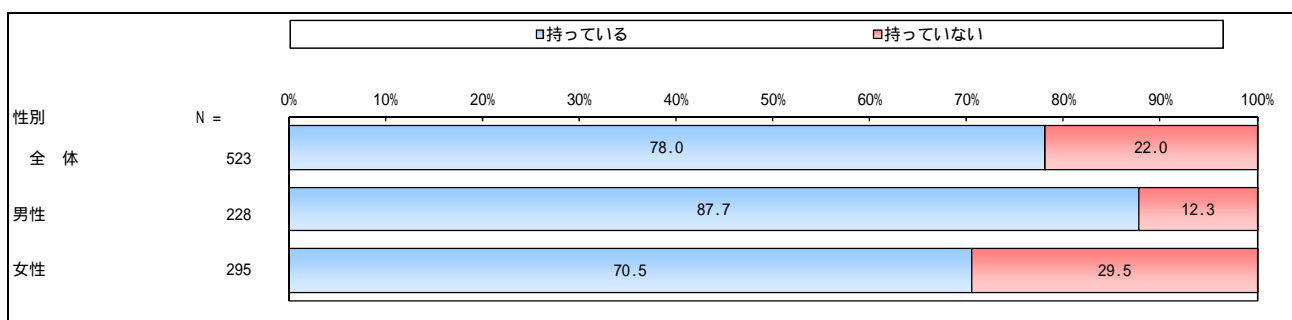


図 1-2 男女別にみる運転免許の保有率 ( n=523 )

### 1.3 年代別にみる運転免許の保有率 高齢になるほど免許保有率は低い

年代別に運転免許の保有率をみると、40代以下、50代、60代までは、免許を「持っている」が8割を超えていることがわかります。

70代は「持っている」が68.5%、80代では「持っている」が38.7%と、60代以下と比べ、持っていない人の割合が高くなっていることがわかります。

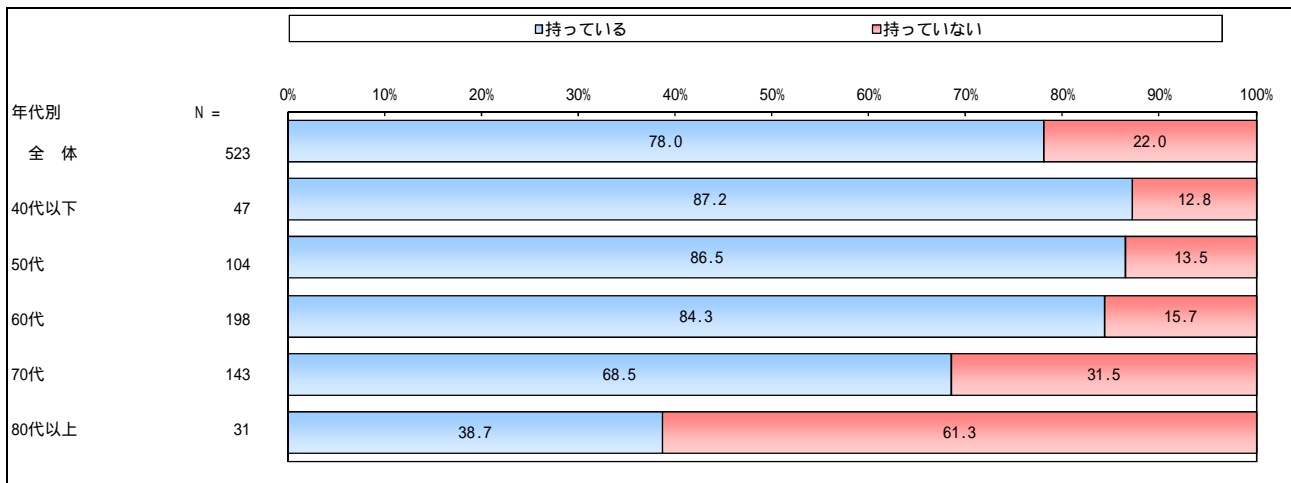


図 1-3 年代別にみる運転免許の保有率 ( n=523 )

## 2.1 運転頻度 免許所有者のうち、5割以上がほぼ毎日運転をしている

運転免許を所有している人のうち、5割以上がほぼ毎日運転をしていることがわかります。

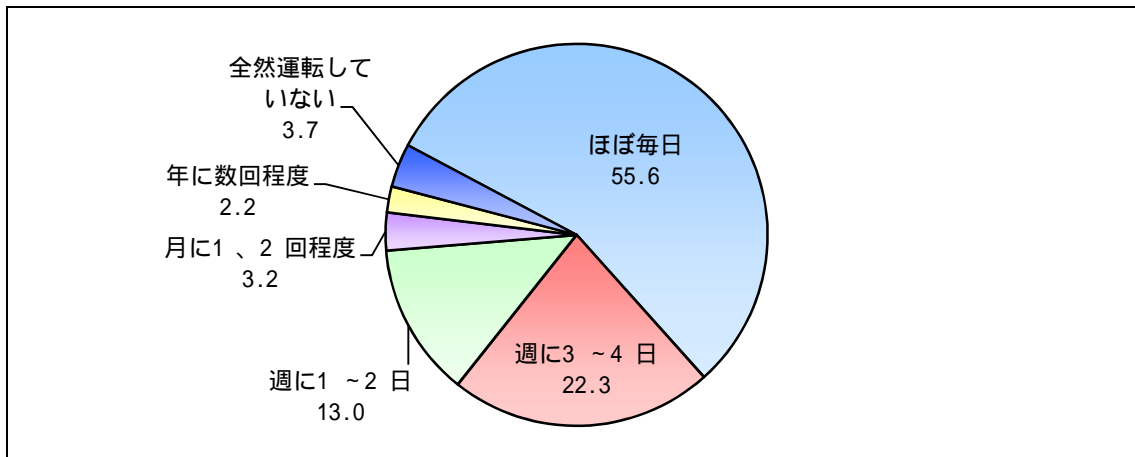


図 2-1 運転頻度 (n=408)

## 2.2 男女別にみる運転頻度 男性 女性ともに5割以上がほぼ毎日運転している

男女別に運転頻度をみると、男性、女性ともに5割以上の人がほぼ毎日運転するということがわかります。

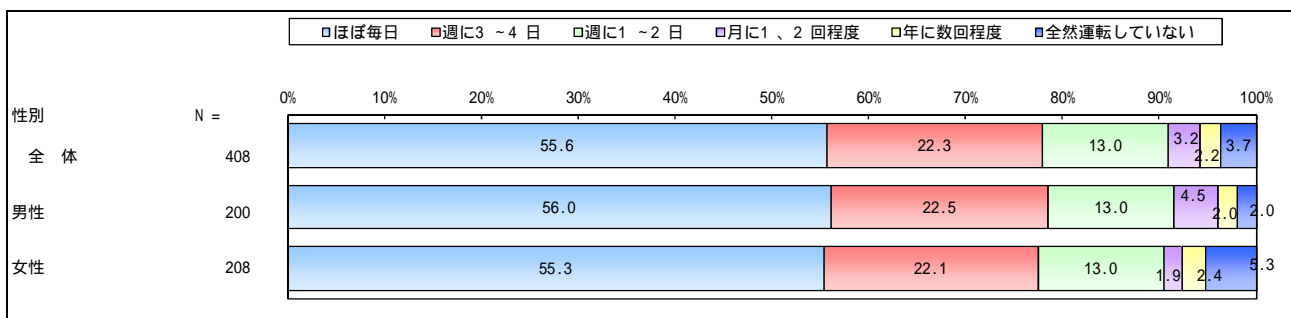


図 2-2 男女別にみる運転頻度 (n=408)

## 2.3 年代別にみる運転頻度 50代は73.3%が「ほぼ毎日」運転するー

年代別に運転頻度をみると、ほぼ毎日運転するという人は40代以下で61.0%、50代では73.3%と高く、60代、70代、80代と年代が上がるにつれて運転頻度が減っていくということがわかります。

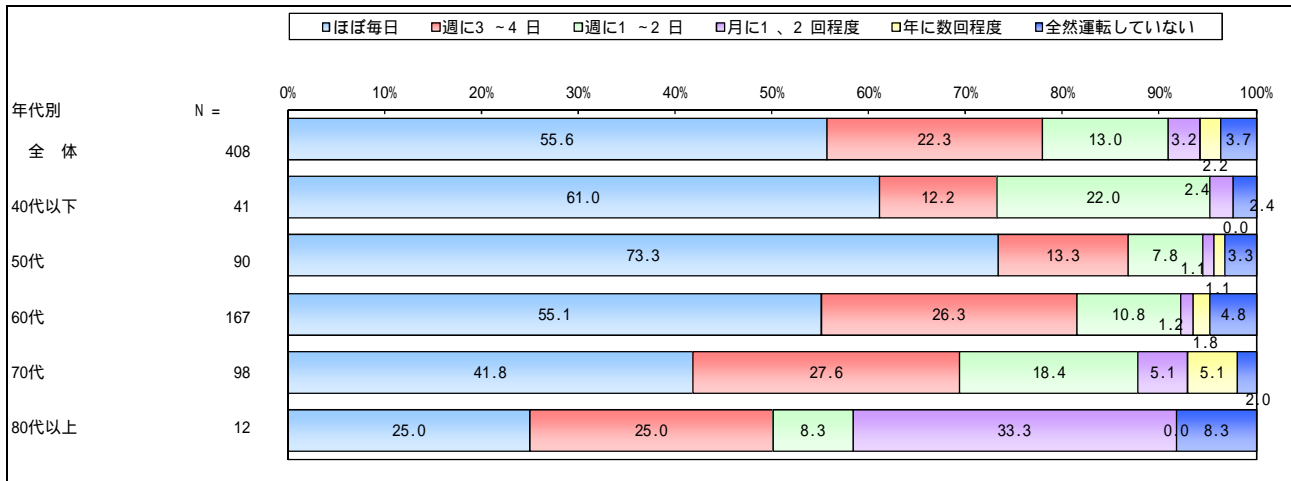


図 2-3 年代別にみる運転頻度 (n=408)

### 3.1 運動能力や判断力の衰え 半数近くが運動能力の低下や衰えを感じない

「自分で運転している時、運動能力の低下や判断の衰えを感じたことはありますか？」と質問したところ、「あまり感じない」「全く感じない」を合わせると、55.8%が運動能力の低下や判断力の衰えを感じることなく運転しているということがわかります。

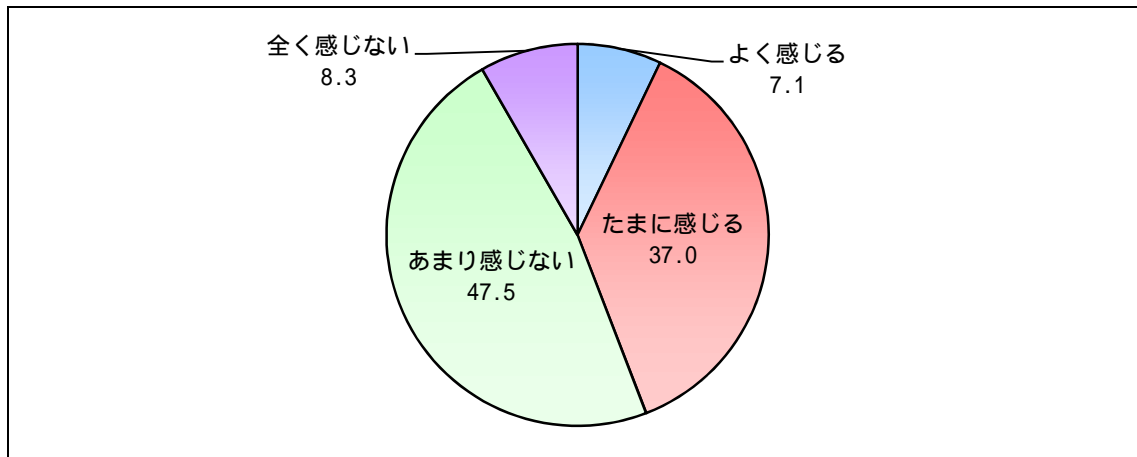


図 3-1 運動能力や判断力の衰え (n=408)

### 3.2 男女別にみる運動能力や判断力の衰え 男性 8.5%が衰えを「よく感じる」

男女別に運動能力や判断力の衰えをみると、「よく感じる」との回答は女性(5.8%)に比べ男性(8.5%)が2.7ポイント高く、男性の方がやや高く衰えを感じていることがわかります。

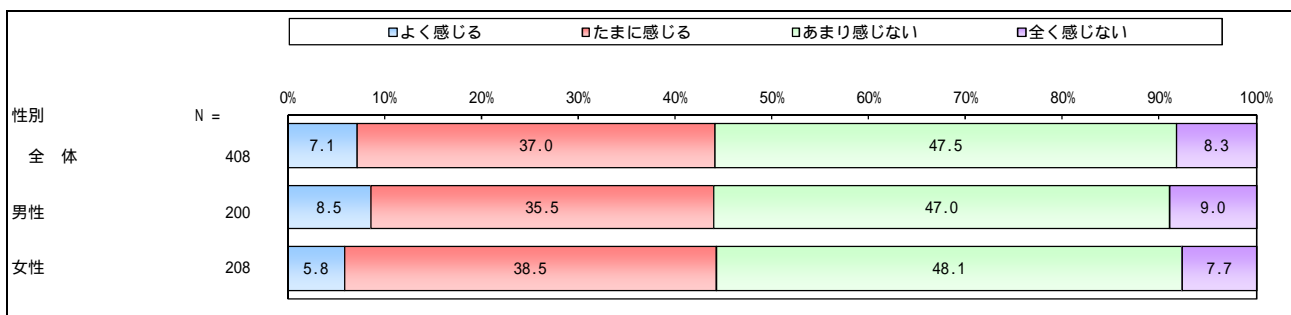


図 3-2 男女別にみる運動能力や判断力の衰え (n=408)

### 3.3 年代別にみる運動能力や判断力の衰え 70、80代以上は6割以上が不安感

年代別に運動能力や判断力の衰えをみると、60代までは、「あまり感じない」、「全く感じない」を合わせて6割以上が運転に不安を持っていないということがわかります。

逆に、70代になると、「たまに感じる」割合が増え、80代以上になると7割近くの人が運転に不安を感じているということがわかります。

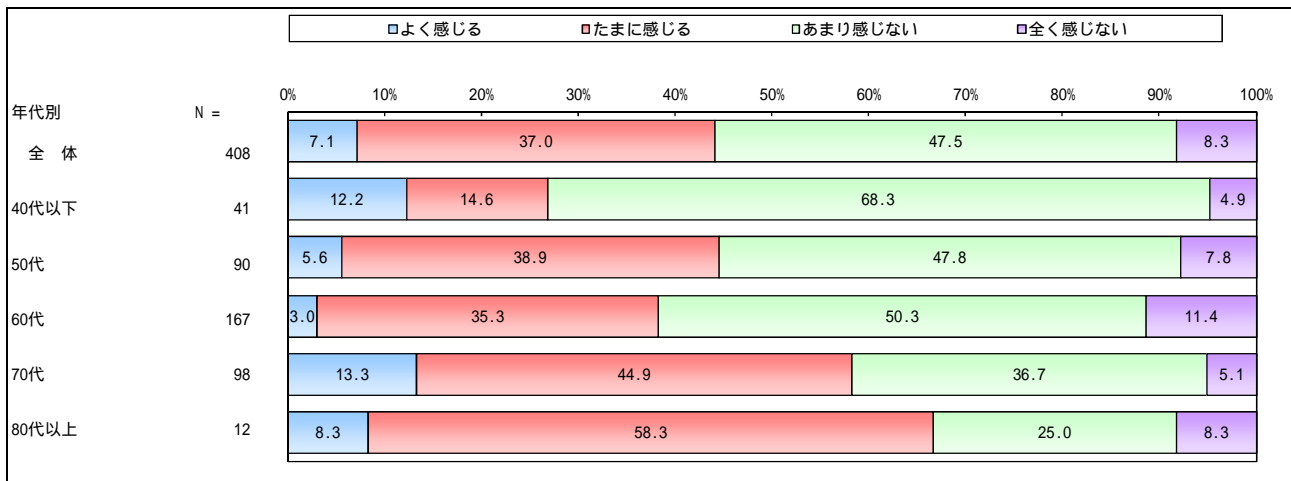


図 3-3 年代別にみる運動能力や判断力の衰え (n=408)



### 3.4 運転頻度別にみる運動能力や判断力の衰え 週数回の人々が運転に不安感

運転頻度別に運動能力や判断力の衰えをみると、ほぼ毎日運転している人は「あまり感じない」と「全く感じない」を合わせて6割以上が運動能力や判断力の衰えを感じることなく運転していることがわかります。

逆に、週3~4回、1~2回運転している人は、5割近くが運動能力の低下や衰えを感じていることがわかります。

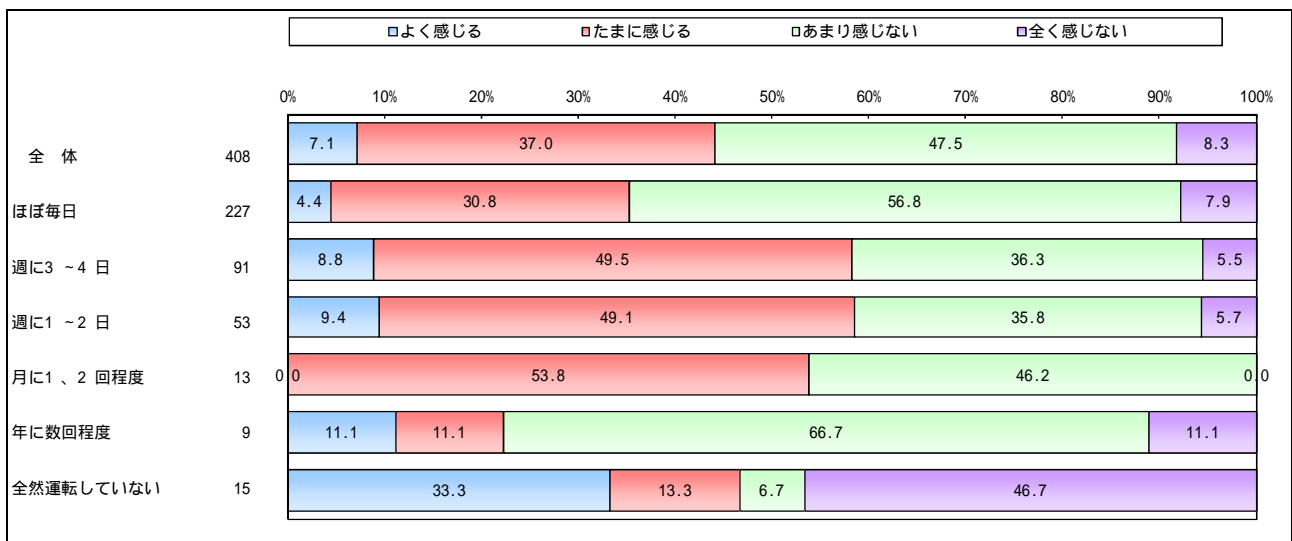


図3-4 運転頻度別にみる運動能力や判断力の衰え (n=408)

## 4.1 安全に運転できると思う年齢 60代までと考える人が40.5%

「一般論として、身体的、運動能力的に考えて安全に運転できると思う年齢はどのくらいだと思いますか?」と質問したところ、「60代まで」と答えた人が4割で一番高いことがわかります。

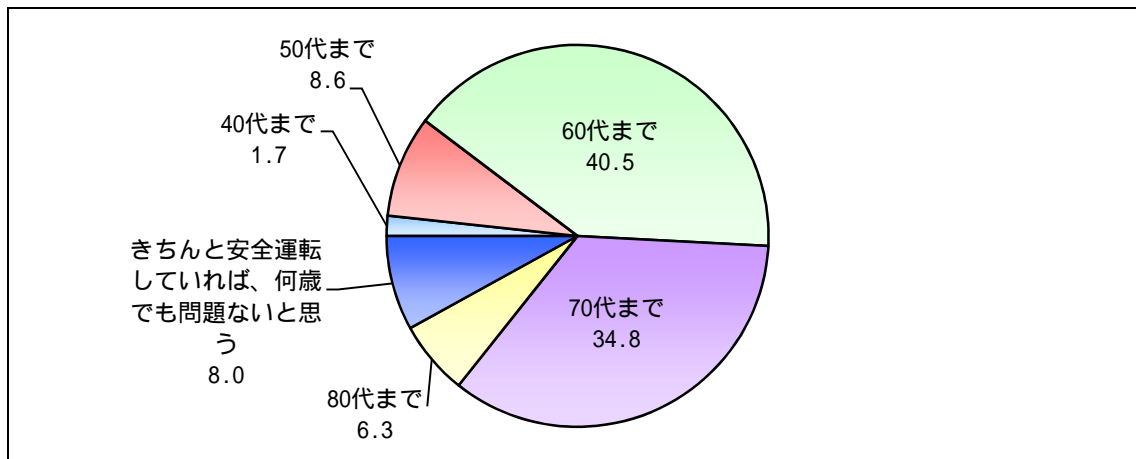


図 4-1 安全に運転できると思う年齢 (n=523)

## 4.2 男女別にみる安全に運転できると思う年齢 男性は「70代まで」が40.4%

男女別に安全に運転できると思う年齢をみると、男性は「60代まで」が33.8%であるのに対し「70代まで」が40.4%で70代まで安全に運転できると考えている人が多いことがわかります。逆に、女性は「60代まで」が45.8%であるのに対し「70代まで」が30.5%で60代まで安全に運転できると考えている人が多いことがわかります。

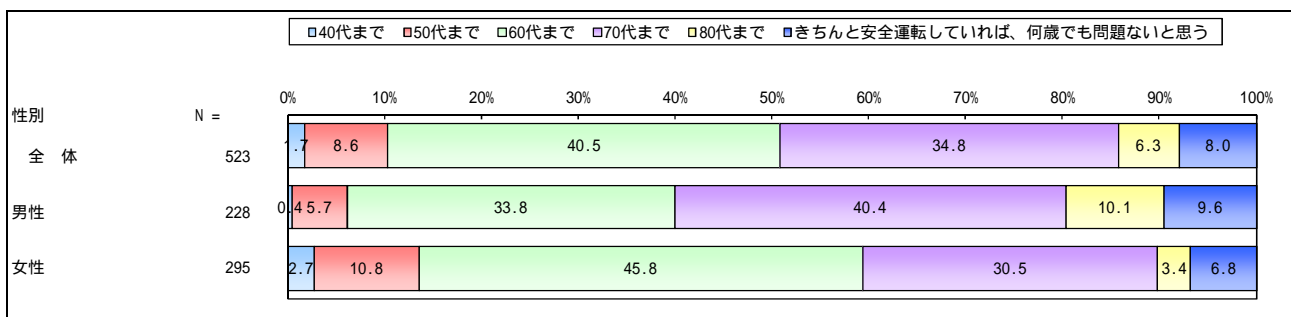


図 4-2 男女別にみる安全に運転できると思う年齢 (n=523)

### 4.3 年代別にみる安全に運転できると思う年齢 年齢に照らし合わせて考えている

年代別に安全に運転できると思う年齢をみると、40代、50代は「60代まで」がそれぞれ51.1%（40代）51.9%（50代）と、最も高い数値となっていることがわかります。

一方、60代、70代は「70代まで」がそれぞれ40.9%（60代）42.0%（70代）と最も高い数値になっていることがわかります。

さらに、80代は「80代まで」と回答している割合が他の年代と比べて15ポイント以上高くなっていることがわかります。

これにより、60代、70代、80代と年齢が上がっていくに従い、安全に運転できると思う年齢も高くなっていることがわかります。

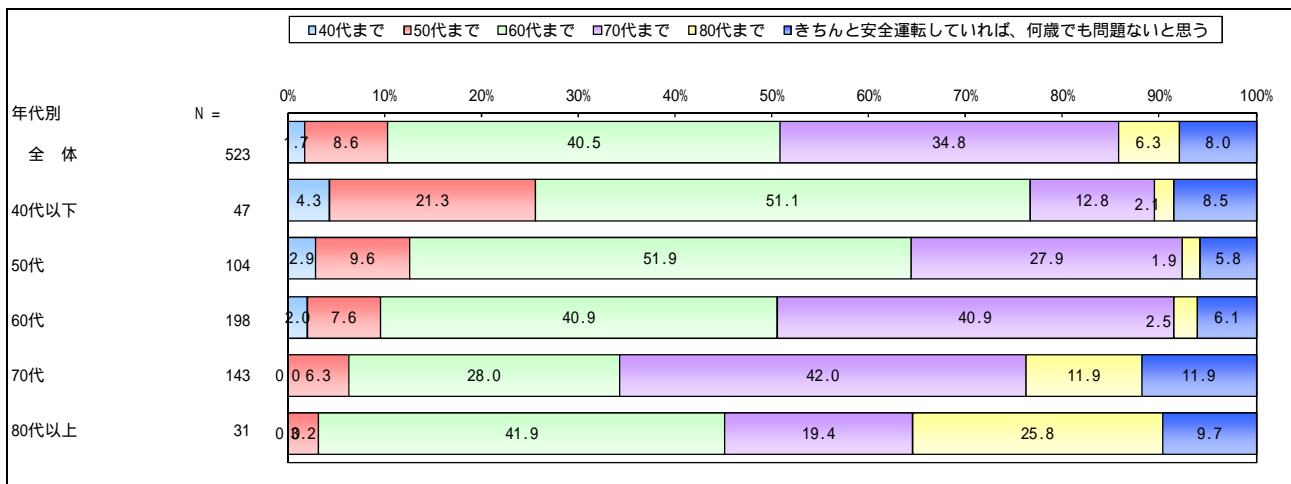


図 4-3 年代別にみる安全に運転できると思う年齢 (n=523)

## 5.1 車の所有台数 3台以上所有している家庭は27.5%

「あなたのご家庭では何台車を所有していますか」と質問したところ、「1台」と答えた方が35.4%と一番高く、「3台以上」所有している家庭も3割近くあることがわかります。

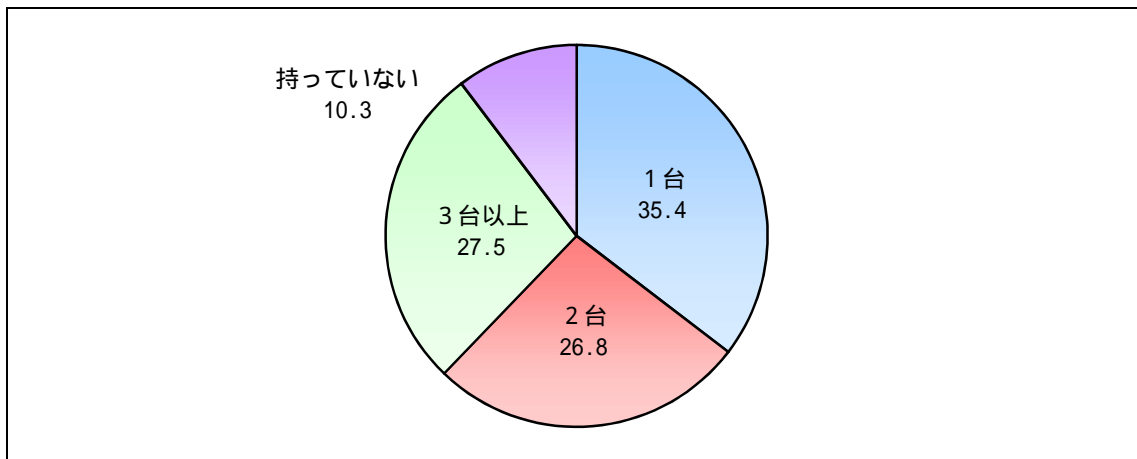


図 5-1 車の所有台数 (n=523)

## 5.2 年代別にみる車の所有台数 「3台以上」所有しているのは50代が39.4%と最多

年代別に車の所有台数をみると「3台以上」所有しているのは50代(39.4%)が最も高いことがわかります。

また、「持っていない」のは、80代(51.6%)が最も高いことがわかります。

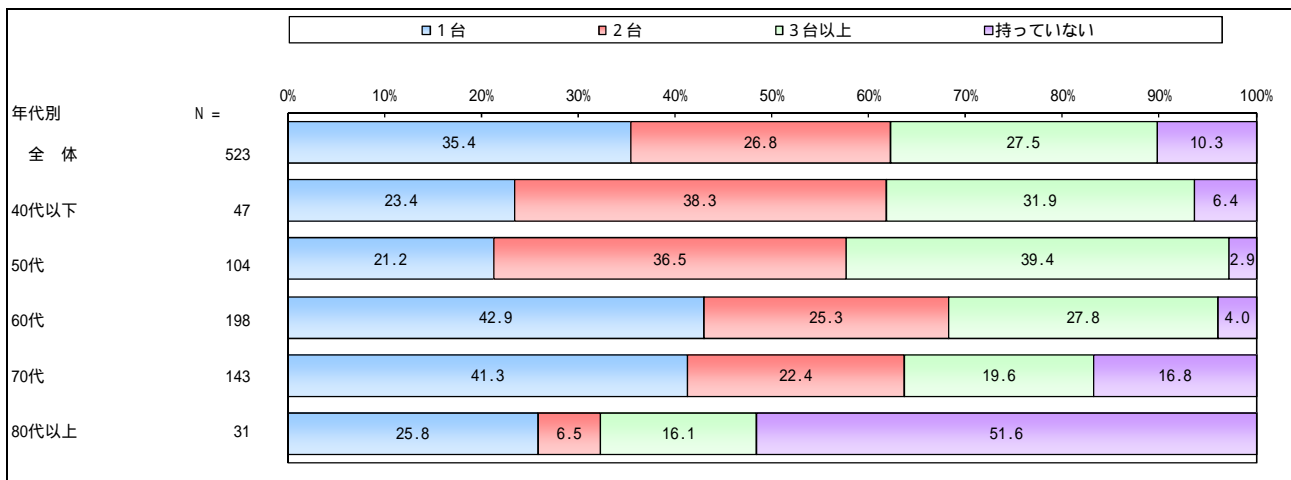


図 5-2 年代別にみる車の所有台数 (n=523)

### 5.3 世帯人数別にみる車の所有台数 世帯人数が多いと所有台数も多い

世帯人数別に車の所有台数をみると、単身世帯で最も高いのは「1台」(50%)なのに対し、5人以上の世帯で最も高いは「3台以上」(69.4%)であることがわかります。それにより世帯人数が増えるに伴い所有台数も多くなっていることがわかります。

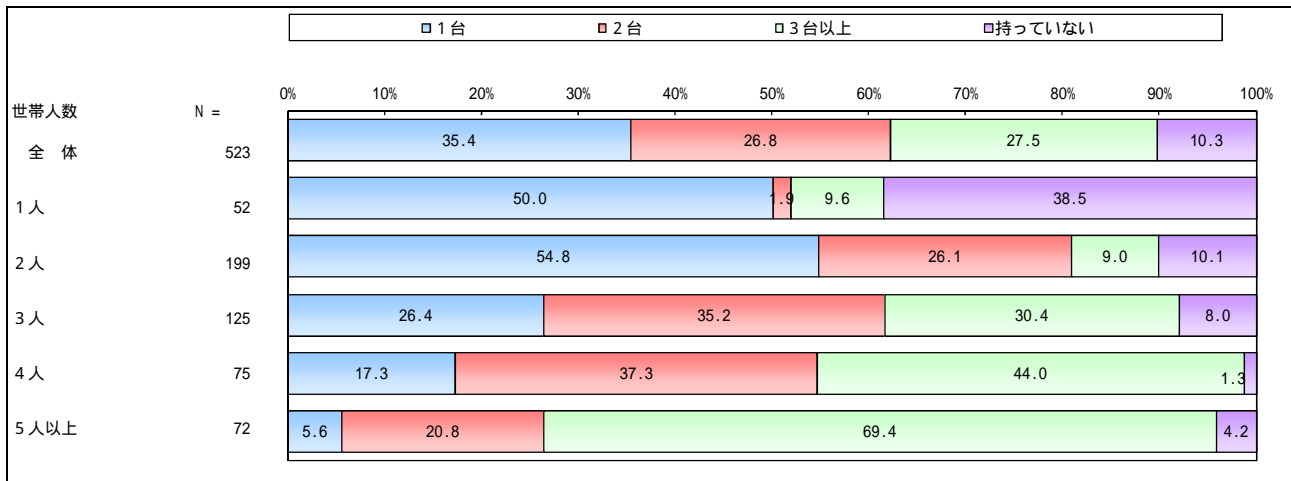


図 5-3 世帯人数別にみる車の所有台数 (n=523)

## 5.4 運転頻度別にみる車の所有台数 ほぼ毎日運転する3台以上所有が多い

運転頻度別に車の所有台数をみると、「ほぼ毎日」運転する人は3台以上所有している割合が高い(41.9%)ということがわかります。

また、「全然運転していない人」は車をもっていない割合が高い(46.7%)ということがわかります。

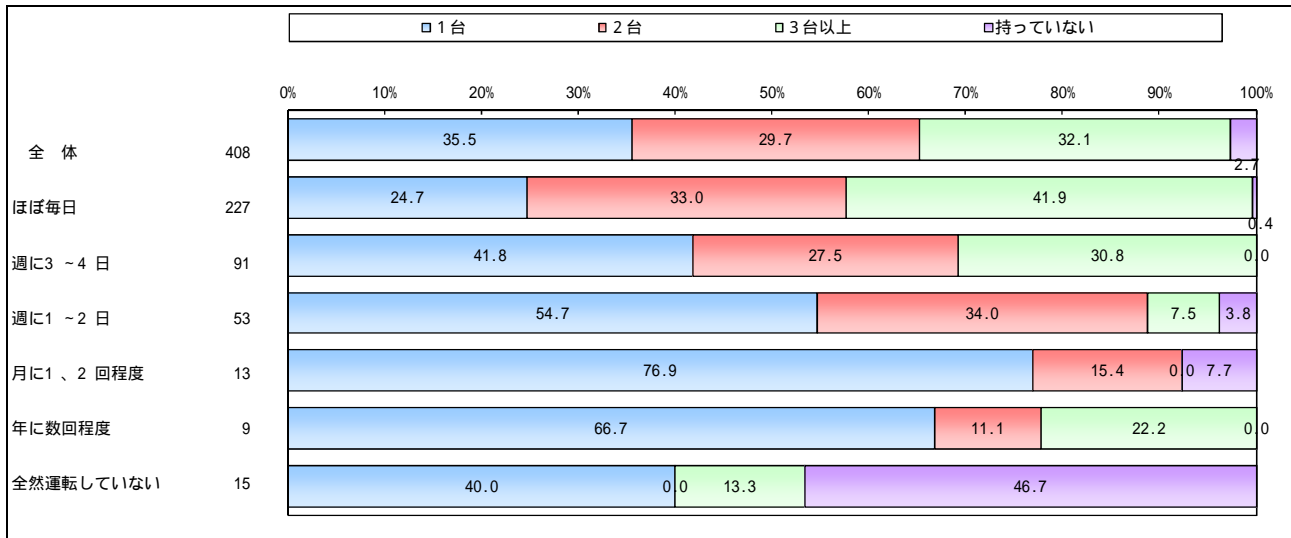


図5-4 運転頻度別にみる車の所有台数 (n=408)

## 6.1 購入したい最適な車のサイズ 一番多いのは、中型車 32.3%

「あなたのご家庭で車を購入するとしたら、最適なサイズは何ですか」と質問をしたところ、中型車（32.3%）が一番高いことがわかります。

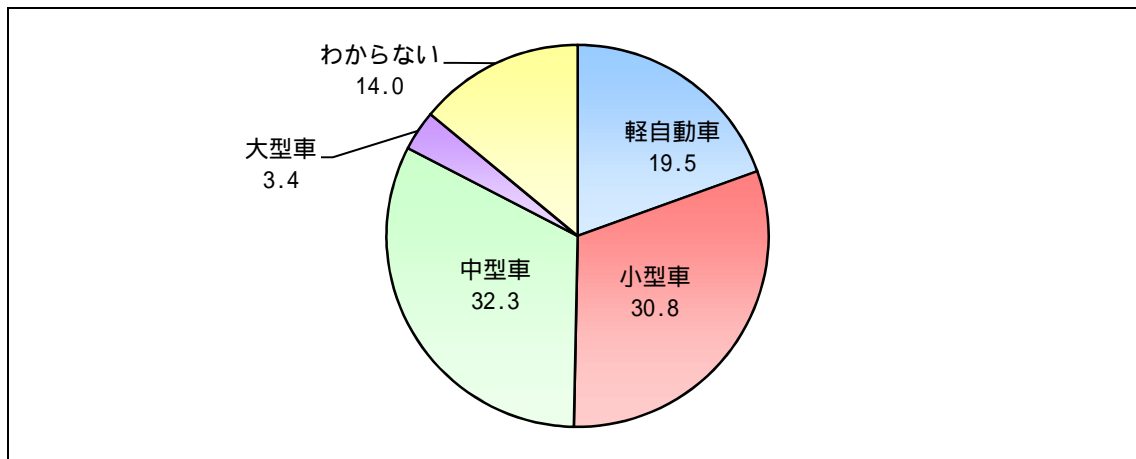


図 6-1 購入したい最適な車のサイズ (n=523)

## 6.2 男女別にみる購入したい最適な車のサイズ 男性は「小型車」が 38.2%

男女別に購入したい最適な車のサイズをみると、男性は「小型車」が 38.2%で、小型車を好む割合が最も高いことがわかります。

また、女性は「中型車」が 36.6%で男性（26.8%）に比べて中型車を好む割合が高いことがわかります。

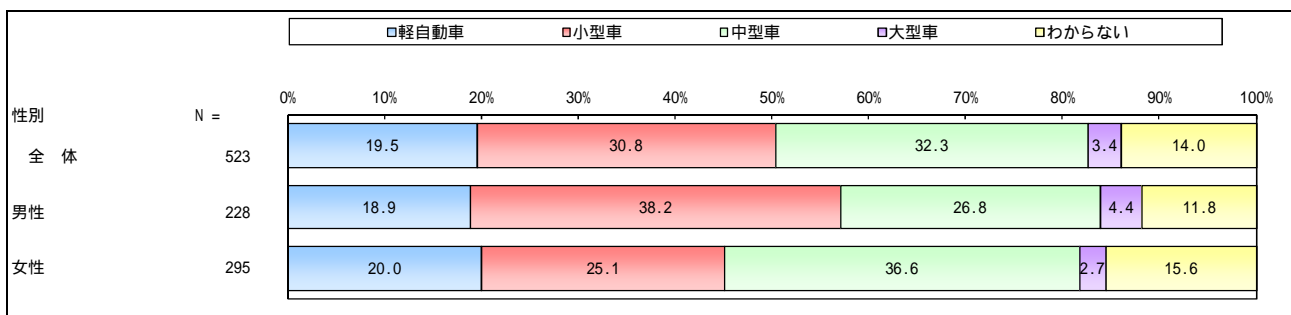


図 6-2 男女別にみる購入したい最適な車のサイズ (n=523)

### 6.3 世帯人数別にみる購入したい最適な車のサイズ 世帯数によって好むサイズが変わる

世帯人数別に購入したい最適な車のサイズをみると、世帯が5人以上の場合「軽自動車」が27.8%と最も高いことがわかります。

また世帯が4人の場合は「中型車」45.3%が最も高いことがわかります。

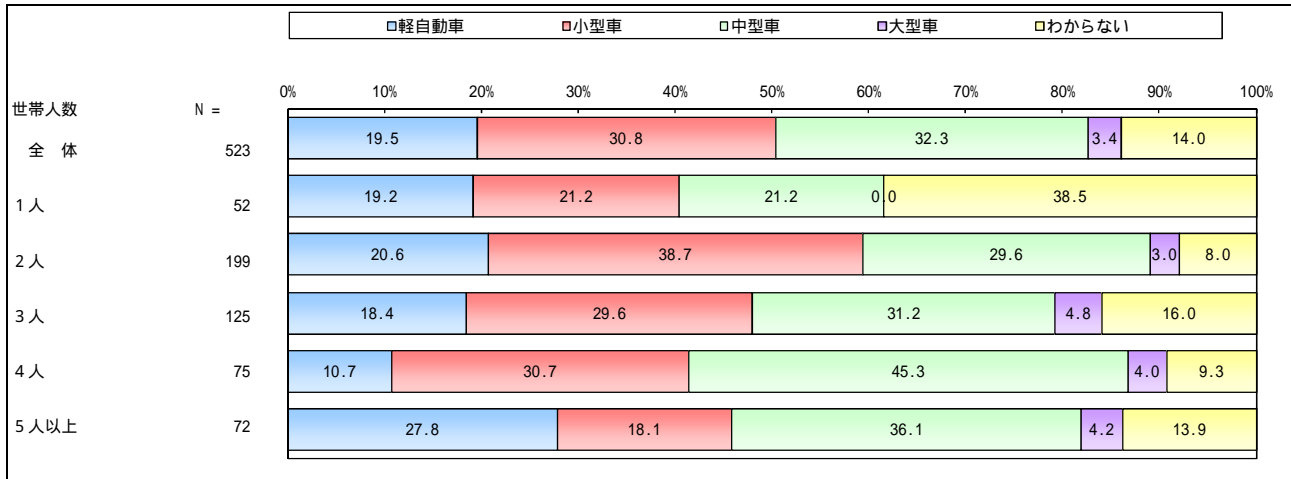


図 6-3 世帯人数別にみる購入したい最適な車のサイズ (n=523)



## 7.1 購入する際の値段の目安 「100万～200万円未満」が5割以上

「あなたのご家庭で車を購入するとしたら、値段の目安はいくらですか?」と質問したところ、「100万～200万円未満」と答えた方が52.6%と最も多いことがわかります。

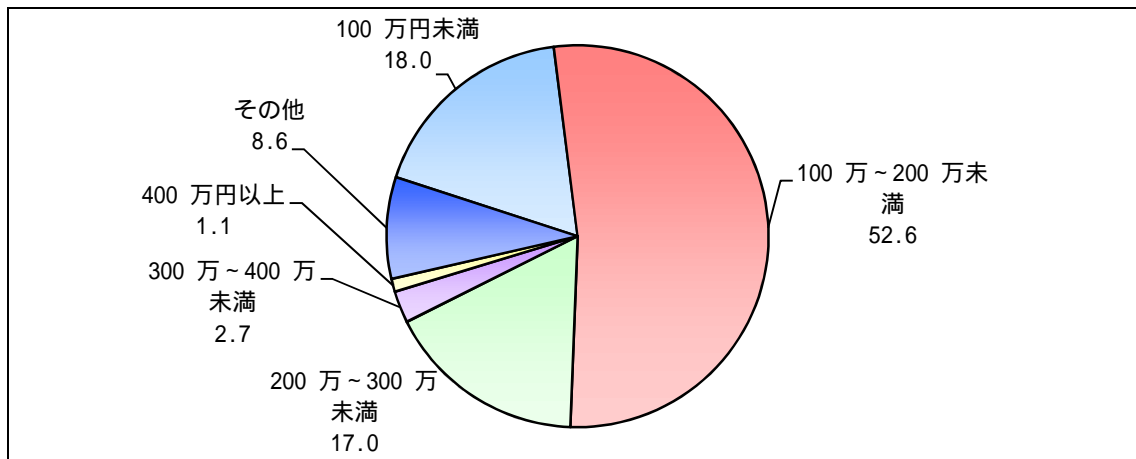


図 7-1 購入する際の値段の目安 (n=523)

## 7.2 年代別にみる購入する際の値段の目安 50代以下は「100万～200万円未満」

年代別に購入する際の値段の目安をみると、40代以下は「100万～200万円未満」が36.2%、「200万～300万円未満」が34.0%と高額な値段を目安としているのに対し、50代～70代は「100万～200万円未満」が約6割、「200万～300万円未満」が1割半ば～2割と、比較的抑えた金額を目安としていることがわかります。

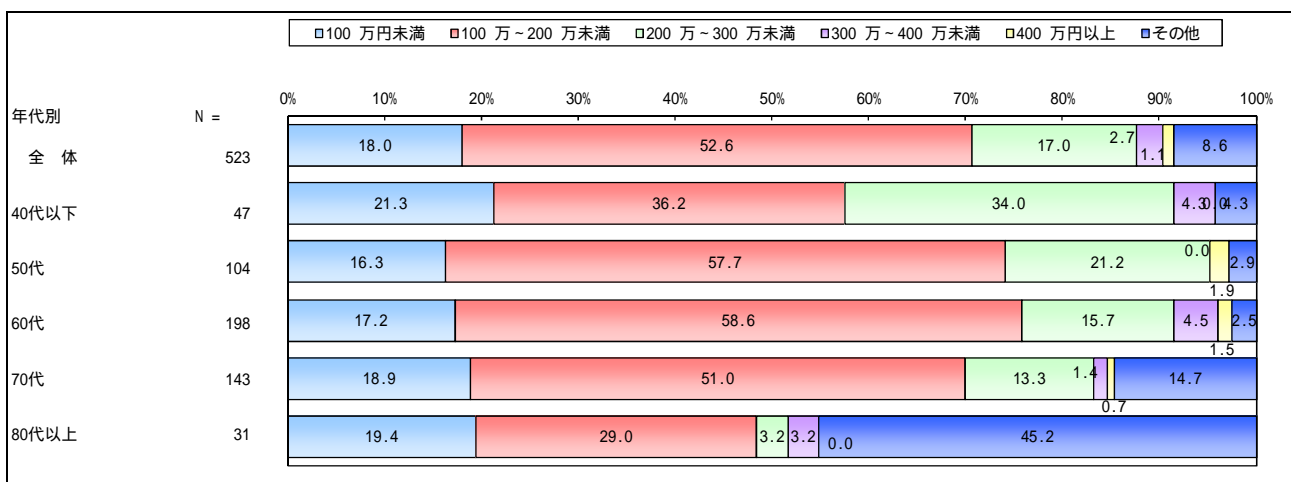


図 7-2 年代別にみる購入する際の値段の目安 (n=523)

### 7.3 世帯人数別にみる購入する際の値段の目安 どの世帯も100～200万が最多

世帯人数別に購入する際の値段の目安をみると、どの世帯も「100万円～200万円未満」で、購入する際の値段の目安としていることがわかります。

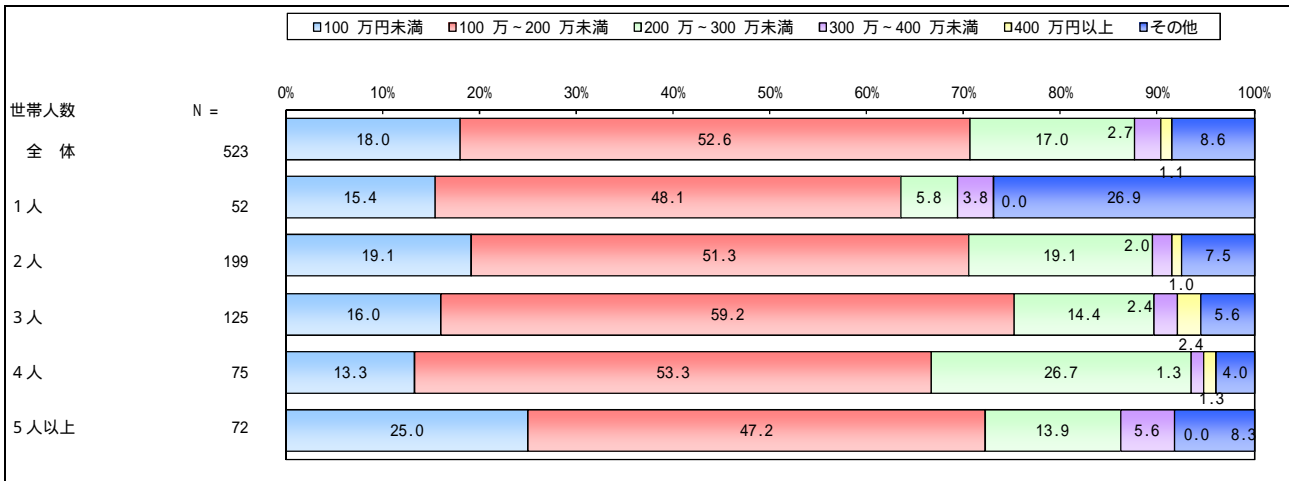


図 7-3 世帯人数別にみる購入する際の値段の目安 (n=523)

### 7.4 運転頻度別にみる購入する際の値段の目安 100～200万円未満が最多

運転頻度別に購入する際の値段の目安をみると、「ほぼ毎日」運転する人は「100万円～200万円未満」が57.7%であるのに対し、「全然運転していない」人は40%が「100万円未満」と考えていることがわかります。

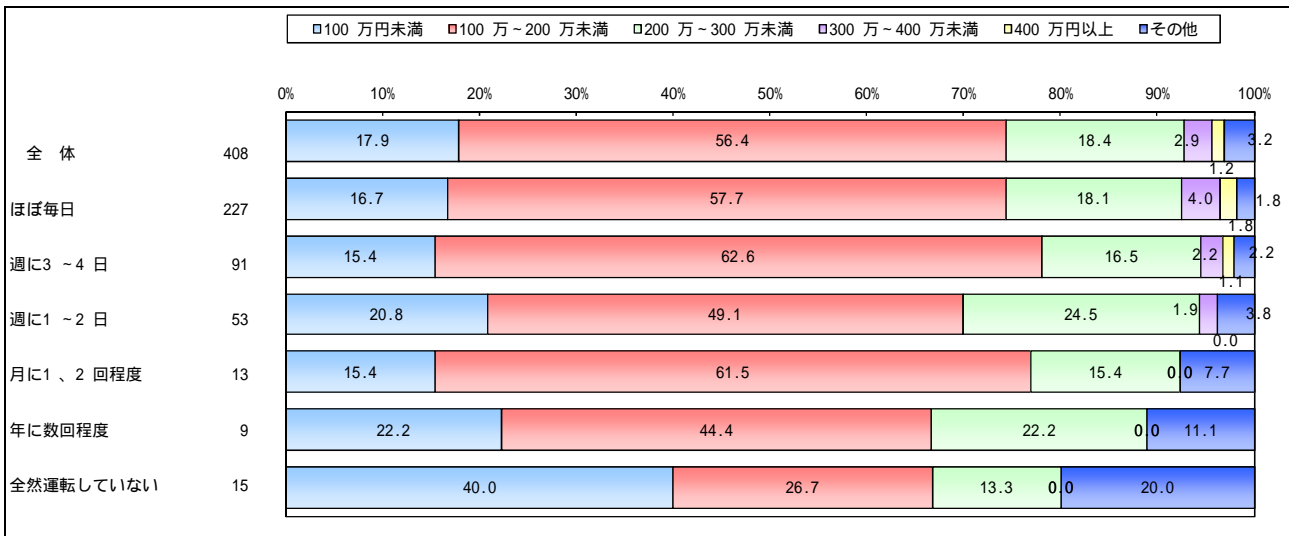


図 7-4 運転頻度別にみる購入する際の値段の目安 (n=408)

## 8.1 ハイブリッドカーの所有率 ハイブリッドカーの所有率は約 1 割

「あなたのご家庭ではハイブリッドカーを所有していますか」と質問したところ、ハイブリッドカーを所有しているご家庭は約 1 割だということがわかります。

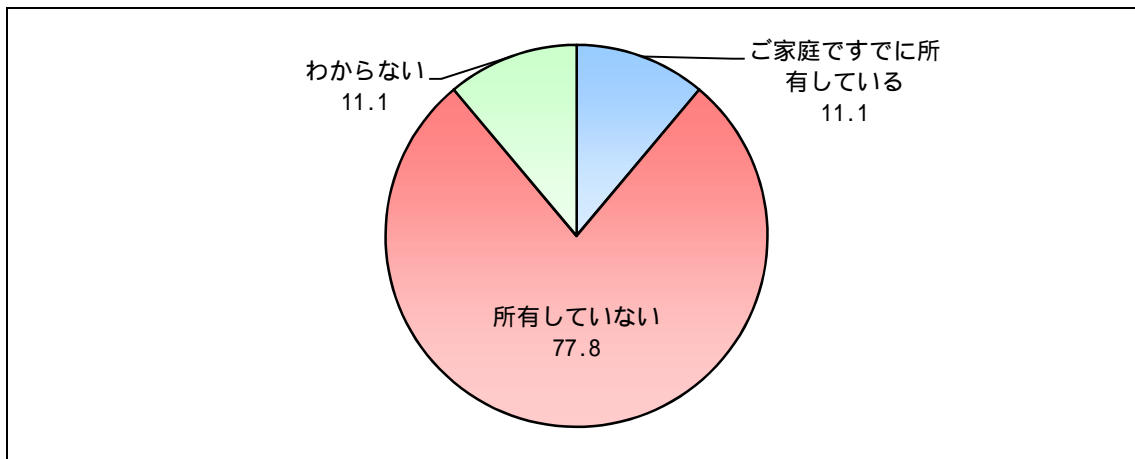


図 8-1 ハイブリッドカーの所有率 (n=523)

## 8.2 年代別に見るハイブリッドカーの所有率 60代はすでに所有が 14.6%

年代別にハイブリッドカーの所有率をみると、60代が 14.6%と最も高く、続いて 50代が 10.6%であることがわかります。

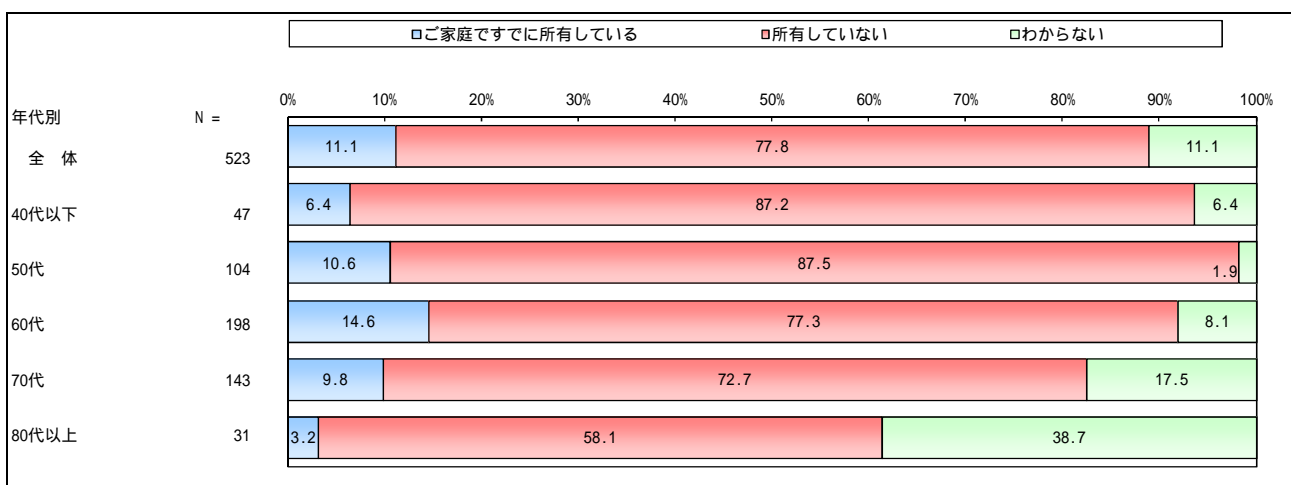


図 8-2 年代別に見るハイブリッドカーの所有率 (n=523)

### 8.3 世帯人数別にみるハイブリッドカーの所有率 3人の家庭が最も高い

世帯人数別にハイブリッドカーの所有率をみると、世帯人数が「3人」の家庭が18.4%と所有率が最も高いことがわかります。また、世帯人数が「1人」の家庭も、13.5%と所有率が比較的高いことがわかります。

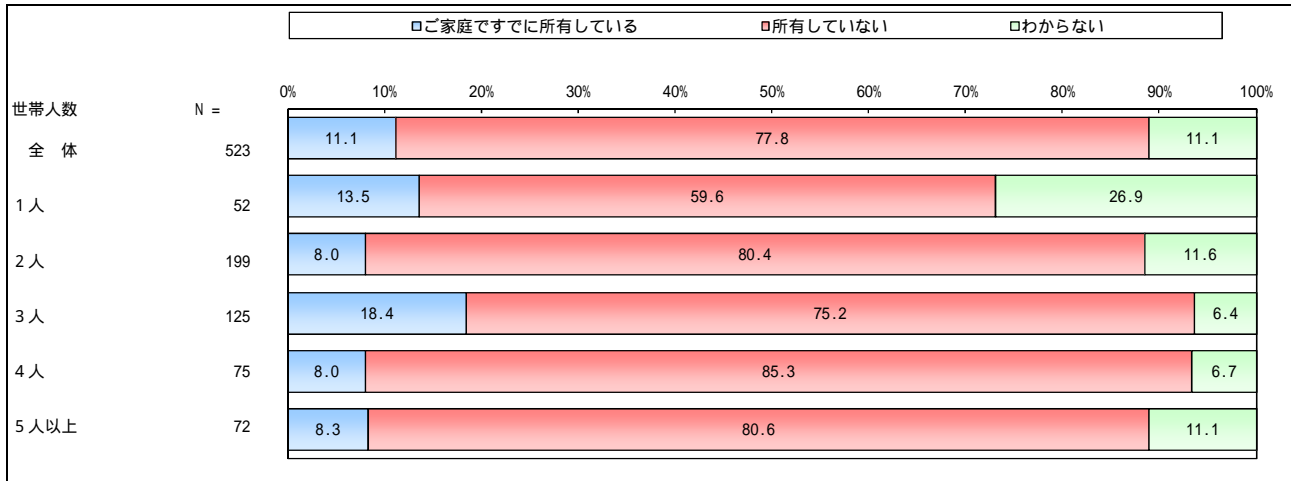


図 8-3 世帯別にみるハイブリッドカー所有率 ( n=523 )

## 9.1 ハイブリッドカーの購入意向 購入希望が6割以上

「あなたのご家庭では今後ハイブリッドカーを購入したいと思いますか」と質問したところ、「是非購入したい」(21.4%)と「やや購入したい」(43.7%)を合わせると約6割以上が購入を希望しており、購入意向が高いことがわかります。

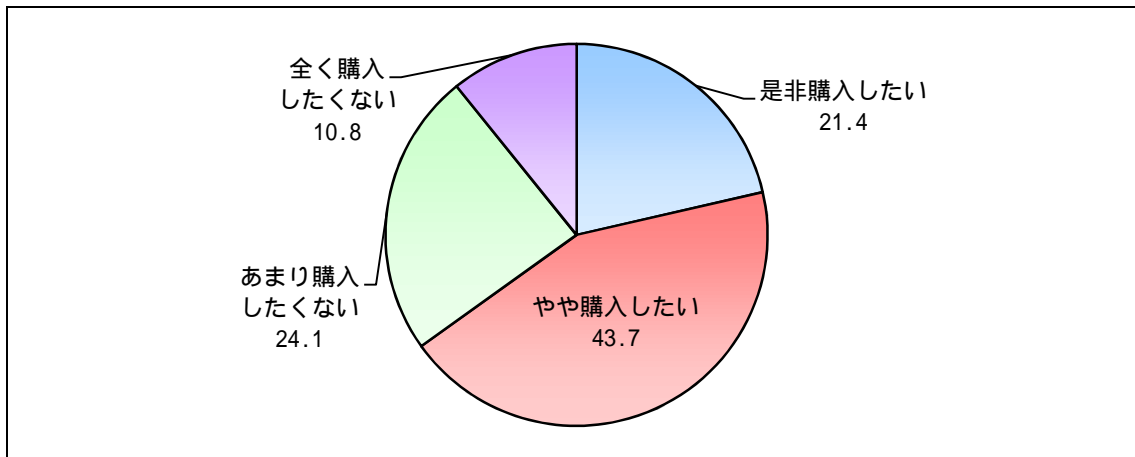


図9-1 ハイブリッドカーの購入意向 (n=407)

## 9.2 男女別にみるハイブリッドカーの購入意向 女性の購入意向は67.3%

男女別ハイブリッドカーの購入意向をみると、「是非購入したい」、「やや購入したい」を合わせた比率は男性(62.5%)に比べ女性(67.3%)が4.8ポイント高いことがわかります。

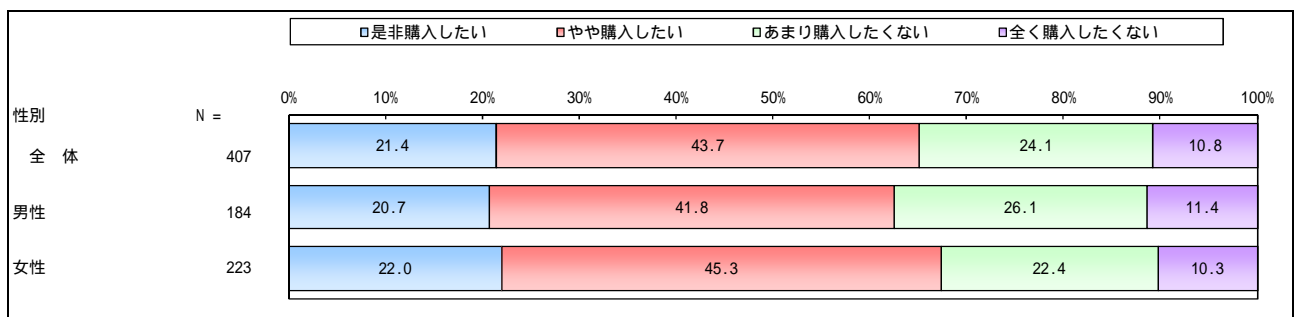


図9-2 男女別にみるハイブリッドカーの購入意向 (n=407)

### 9.3 年代別に見るハイブリッドカーの購入意向 40代「是非購入したい」が31.7%

年代別にハイブリッドカーの購入意向をみると、40代以下は「是非購入したい」(31.7%)と「やや購入したい」(56.1%)を合わせると87.8%と購入意向が高いことがわかります。

逆に80代は「是非購入したい」(5.6%)と「やや購入したい」(22.2%)を合わせると27.8%で、購入意向が40代以下に比べて低いことがわかります。

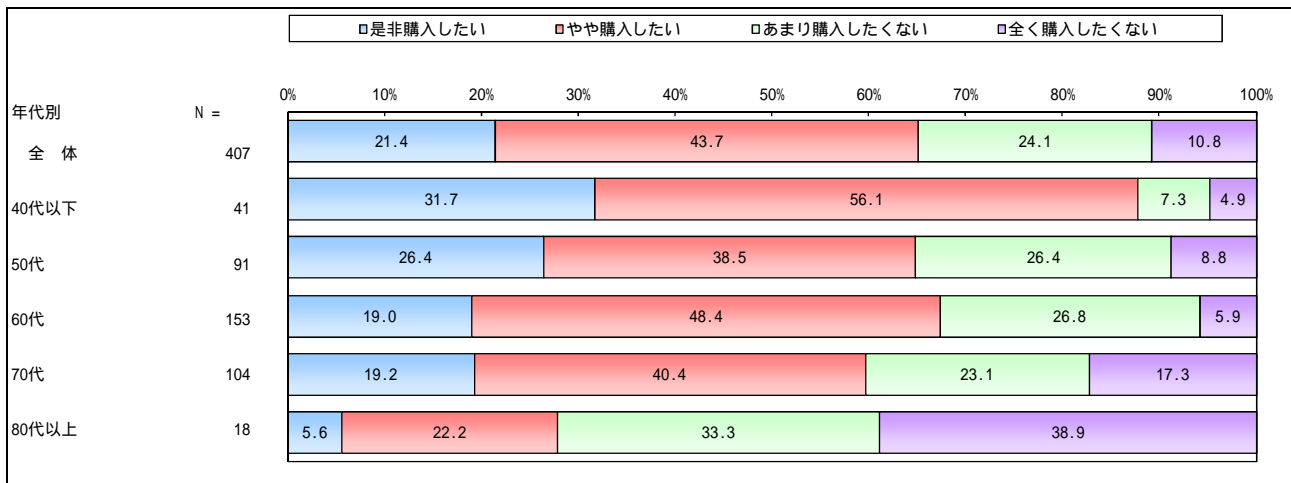


図9-3 年代別に見るハイブリッドカーの購入意向 (n=407)

## 9.4 世帯人数別にみるハイブリッドカーの購入意向 5人以上世帯は購入意欲が高い

世帯人数別にハイブリッドカーの購入意向をみると、5人以上の世帯は「是非購入したい」(17.2%)と「やや購入したい」(65.5%)を合わせて82.7%と購入希望意欲が最も高いことがわかります。

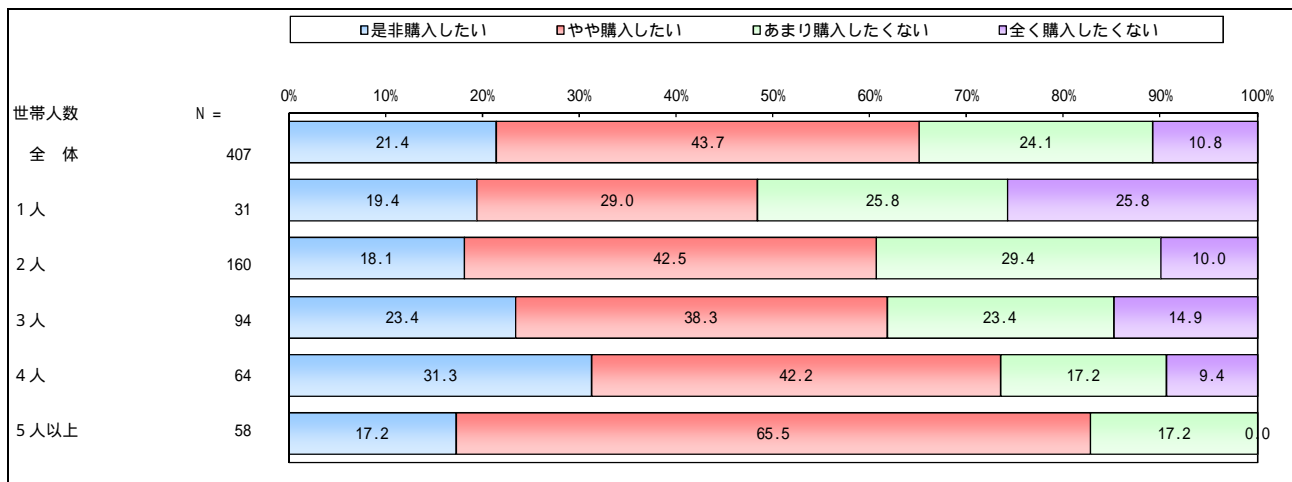


図9-4 年代別にみるハイブリッドカーを購入意向 (n=407)

## 会社概要

株式会社ジー・エフは、独自開発した「自動テレマーケティングシステム」(アウトバウンド IVR) を活用し、インターネットやモバイルだけではカバーしきれない『シニア』を対象としたマーケティング手法・情報を提供しております。

- 商号 株式会社ジー・エフ  
資本金 10 百万円  
設立 2010 年 2 月  
代表者 代表取締役社長 岡田 博之  
本社 〒112-0012 東京都文京区大塚三丁目 20 番 1 号 吉田ビル 4F  
U R L <http://www.gf-net.co.jp> (コーポレートサイト)  
<http://www.senior-promo.com> (シニアマーケティング支援サイト)  
事業内容  
・シニアデータベースを活用したリサーチサービス  
・各種世論調査、市場調査、マーケティングリサーチ  
・情報通信システムを活用したマーケティング代行
- 株主 国際航業株式会社  
・本社 東京都千代田区六番町 2 番地  
・資本金 29,750 百万円  
・設立 1974 年 9 月  
・U R L <http://www.kkc.co.jp>

【本調査に関するお問い合わせ先】

株式会社ジー・エフ シニアリサーチ担当  
〒112-0012 東京都文京区大塚 3-20-1 吉田ビル  
TEL:03-5978-2261 FAX:03-5978-2260  
E-mail:webmaster@gf-net.co.jp

調査データ引用の際は、「株式会社ジー・エフの調査結果によると...」等の明記をお願い致します